

まちがいさがし クイズ



上下の絵を見くらべて、まちがいを8カ所見つけてください。

とうふねこ座：市川雅子 画

応募方法

ハガキまたはファクスに、①答え(右の絵に○をつける)と②住所・③氏名(ふりがな)・④年齢・⑤電話番号・⑥広報紙の感想・ご意見を書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり4月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

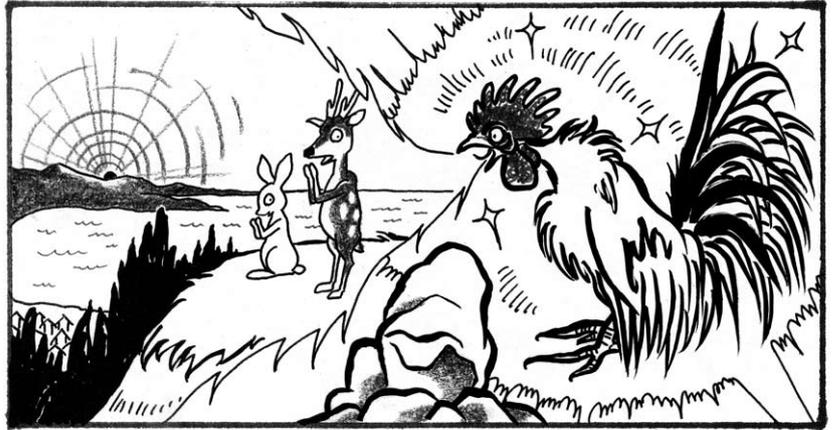
〒443-8601 旭町17番1号
企画広報課「クイズ」係
FAX66♦1190

応募締切

2月17日(金)

プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードもしくはラグーナの湯無料利用券をプレゼントします。なお、賞品は4月初旬に郵送します。



「とがみやま」(三谷町)

むかし、とがみやまという名前がなかったころ、この山に仲の悪い鹿と兎が住んでいました。鹿が「こはくはくたちの鹿の山だ」と言うとう、兎が「なに言うんだ。こは兎の山たわ」と言っているもけんかをしていました。

ある日、朝廷の高官がこの近くを通った時、十頭の鹿が山を駆け上がっていくのを見て、「この山の名前は十鹿見山(とがみやま)にしよう」と言つと、鹿は得意になっていばりました。兎はくやしうて月夜の晩に仲間の兎を集めてよい知恵が出てくる踊りを始めました。

しばらくしたある夜、一人の修行者が西の頂で修行をしていると沓えさえと月ができて踊り始めました。驚いた修行僧はこの山は、兎頭山(とがみやま)じゃーと叫びました。兎は大得意で鹿にいばつて話しました。

年も押し寄せまった大晦日の夕暮れ、2匹はとがみやまの中道をけんかしながら登っていると、冷たい雪が降ってきました。2匹は近くにあった縄文の岩屋の下に入って、仕方なく寄り添って寝ました。明け方、鹿と兎は不思議な声で目が覚めました。急いで西の頂の大きな岩くらに着くと、元日の御来光が幽玄なとがみやまを神々しく包み始めたのです。2匹は名前のことで言い争っていたことがつまらなくなりしました。鹿と兎は仲良く初日を持ちました。その時、また不思議な声が聞こえました。声はとがみやまの東の山裾から聞こえてきたようでした。「塚の金のチャボの声たー」と思わず一緒に叫んでしまつてから、鹿と兎はおかしくなつて笑いました。

今では砥神山と書きます。砥神山は姿の美しいことから、三河富士と呼ばれています。山頂に西の頂と、東の頂が仲良く並んでいます。ここで元日に御来光を拝む時、金のチャボの声を聞くと、幸せがくるとか、金持ちになると言われているそうです。金のチャボは古墳の所在を表現していると言われています。

◆12月号の答え

12月号クイズまちがいさがし(十王堂と観音様)の当選者
応募総数71通
正解者 68人
当選者 敬称略・50音順
水竹町 小池佳穂
金平町 酒井晶平
大塚町 杉浦進
中央本町 鈴木美恵子
形原町 藤原利治
竹谷町 松井奈緒美
宝町 松永諒子
港町 松山芳子
西浦町 森幸子
三谷北通 山川貴子
おめでとうございます。賞品は2月初旬に発送します。

